

参加費
無料

こども宅食から、
仲間が広がる、支援が深まる。

親子の支援を語ろう キャラバン in 山形

「つらい状況にある親子をなんとかしたい。」

そんな想いで、親子の支援に携わる団体がつどい、
親子を支えるつながり、を深める対話イベント。

地域のボランティアなどが家庭に出向き、
直接支援を届けていく「こども宅食」の事例を通じ、
皆で「これからの親子の支援」を考えていきませんか？



概要

日時 2023年12月15日(金) 13:30~16:00

場所 山形テルサ 研修室A
山形市双葉町1-2-3 (駐車場は近隣の有料駐車場をご利用ください)

プログラム

13:30 (一社)こども宅食応援団 理事 原水敦

こども宅食とは？

定期的な食のお届けをきっかけに家庭を見守り、
寄り添う伴走型の支援「こども宅食」。活動の概要、
家庭へのアプローチの特性、地域の支援へと
つなげる役割など、映像を交えて語ります。

14:00 地域の実施団体より

こども宅食の事例紹介

地域や団体によって、こども宅食の活動は多様。
近隣でこども宅食を実施している団体に登壇いただき
親子の見守りを通じた発見や課題等を紹介いただきます。

14:30 親子の支援に取り組む団体同士が語り合う

参加者による座談会

「親子のつらい」を見逃さない地域・社会を目指して、
今、私たちにできることは？をテーマに語り合います。

パネラー

山形市社会福祉協議会 地域福祉課
片倉 美香さん

山形市社会福祉協議会に入職後、
「つくも保育園」に勤務。本年より、
地域福祉課で子どもの居場所づくり
支援センターや、子ども見守り宅食相談員を担当。



特定非営利活動法人クローバーの会
@やまがた 理事長
樋口 愛子さん

山形県飯豊町生まれ。長女の不登校をきっかけに、
不登校やひきこもりの子どもをもつ親の会
「クローバーの会」を立ち上げ。こども食堂の運営や、
食糧支援、親子の居場所づくりなどに取り組む。



こんな方にオススメです！

- ✓ 食堂や居場所に来ているあの子が気になる
- ✓ 支援拒否される家庭となんとかつながりたい
- ✓ 共創・協働できる多様な仲間とつながりたい

社会福祉協議会、児童家庭支援センターなどの社会福祉法人、こども食堂の実施者、
フードバンク事業者など、親子の支援に関わる団体の皆さまのご参加をお待ちしています

お申込み
お問合せ

右記のQRコードよりお申し込みください

【主催】一般社団法人こども宅食応援団 【後援】山形市

※こども宅食応援団は、「認定NPO法人フローレンス」のグループ団体です



申込みは
12/13締切



こども宅食とは

既存の支援につながりにくい
家庭とつながるための

「食品配送型アウトリーチ」です。

様々な困りごとを抱えた子育て家庭に、地域のボランティアなどが直接出向き、定期的な食のお届けを実施する取り組み。配送時の対面によるやりとりから、少しずつ「つながり」を育て、家庭の状況を把握したり、状況が悪化する予兆を見つけ、必要な情報や適切な支援につなげることを目指しています。



1 つながる

「食」をきっかけにすることで支援を受ける抵抗感がなくなる



2 みまもる

訪問者との関係が少しずつ深まり、気軽に相談できるようになる



3 つなげる

家庭の状況や困りごとに合わせて必要な支援につなげることができる

なぜ必要なの？



従来の支援が届かず、孤立する親子がいるからです。

経済的な困窮、心理的な障壁、周囲の偏見など、様々な要因が複雑に絡み合うことで、苦しい状況に置かれていても『つらい』という声を上げることができない親子がいます。こども宅食の利用家庭に実施した調査では、その多くが経済的な困難を抱えているものの、**既存の支援メニューのほとんどを利用しておらず、支援が本当に必要とする人に届いていないことが分かっています。**

親子のSOSを阻む、様々な障壁

つらいが
言えない

経済的に苦しいことを、**人に知られたくない。**

自分の家庭のことなのに、**誰かに助けてなんて言えない。**

家計も赤字だし、子育ても自信がない。人に知られたら

「親として失格」って思われるんじゃないか…

こども食堂に行きたくても、**ガソリン代や駐車場代を出すお金がない。**

従来の支援が届いていない

近隣の人や親・親戚の手助けがほとんどない

7割以上

自治体の窓口を利用したことがない

8割以上

行政や専門機関に不信感や警戒心を持っている

5割以上

こども食堂やフードバンクを利用したことがない

8割以上

このような課題を解決するべく、地域のボランティアなどが家庭に出向き、**直接支援を届けていくために生まれたのが「こども宅食」**です。

何を目指しているの？

こども宅食を全国に広げ、「親子のつらい」を見逃さない社会を目指しています。

「こども宅食応援団」による全国普及活動

こども宅食応援団は、こども宅食に取り組む団体に対し、事業推進のための伴走的な支援を実施する**中間支援団体**です。こども宅食の実施団体数は、**38都道府県、104団体**まで増え、支援するご家庭は**約2万世帯**まで広がりました。※2023年3月時点

こども宅食の立ち上げ支援、運営相談、ノウハウ提供、国や企業からの資金・物品の提供活動、国への提言活動など、様々な支援メニューを展開しています。

※こども宅食応援団は、「認定NPO法人フローレンス」のグループ団体です

こども宅食を実施している自治体数

